

平成28年4月7日

上ノ国町議会議長

石澤 一 明 様

氏名 岩城 昇



平成27年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成27年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

道内外市場の調査研究

2 政務活動内容

平成27年6月23日～24日

道内市場視察

平成27年7月2日～3日

道外市場視察

3 政務活動成果

6月23日(火)

○丸果室蘭青果市場

(対応者) 渡社長、馬場取締役部長

J A担当職員より、上ノ国町の今年の生産計画や昨年の出荷販売実績を説明した後、丸果馬場部長より、サヤエンドウの取扱いは、胆振地区のみであり、ほとんどが上ノ国産とのことでした。

以前に比べると、室蘭市も人口が減少しており、取扱う飲食店も減少傾向にあることから需要も減っているが、高級志向の温泉旅館が北湯沢に6月オープンする予定となっているので、売り込みをかけて、安定単価での販売を見込んだ戦略をしたいとのことです。

○丸一苫小牧中央青果市場

(対応者) 野沢部長、河村課長

J A担当職員より、上ノ国町の今年の生産計画や昨年の出荷販売実績を説明した後、河村課長より、今の時期は東北産の転送物が若干入っているが、1kgあたり千円程度であるとのことでした。サヤエンドウの取扱いとしては上ノ国産が主でキロ1,500円となっておりますが、昨年は全体的に野菜の価格が安く、市場でも苦戦しているとのことです。

苫小牧市の人口は増加していますが、都市圏の大型スーパーの店舗展開で市場の物があまり流れていかないような状況にあるとのことです。丸一苫小牧の平均単価は若干低いので、単価アップに努力してもらいと要望しました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

6月24日(水)

○丸果札幌青果、札幌ホクレン青果

J A担当職員より、上ノ国町の今年の生産計画や昨年の出荷販売実績を説明した後、ホクレン札幌果の説明では、本年前半は鹿児島産に始まり、東北産、上ノ国産となっているとのこと。東北産の品質が若干低下しており、上ノ国産が始まってきたので単価を上げるよう努力をするとのことでした。

札幌ホクレン青果でも上ノ国産は発泡スチロールでの出荷のため、夏場の腐敗もなく安心して売れるとのこと。また、ニラについても上ノ国産のものを60%以上も扱っており、高値での販売を要望しました。

○丸果札幌青果売り場見学

丸果札幌青果に関しては、サヤエンドウは道内での平均単価が非常に良く、上ノ国町以外の産地として七飯産、石狩産、東北産があるが、キロ800円程度である。上ノ国産はキロ1,800円と高値となっています。上ノ国産の出荷前は東北産でしたが、現在はほとんどが上ノ国産に切り替えられています。他の産地は段ボール詰めとなっておりますが、市場としては発泡スチロールが望ましいとのことでした。また、スナップエンドウについては、今年は出荷量が多いため、キロ1,000円前後と安く、苦しんでいるとのこと。スナップエンドウについては、毎年出荷量が若干増加している傾向にあることから、単価については高値で販売するようお願いしました。

○樽一小樽中央青果

(対応者) 青山社長、竹内次長

市場の規模は小さく、サヤエンドウは上ノ国産以外の産地はあまりなく、俱知安産と地物が若干ある程度です。以前は、中国産の取扱いもありましたが、最近では扱っていないとのこと。小樽市も人口が減少傾向にあり、飲食店も減っているため、需要も下降気味となっております。樽一小樽中央青果さんの平均単価が少し低いので、単価を上げる努力をしてほしいと要請しました。

※道内市場視察のまとめ

サヤエンドウの道内市場の取扱いについては、出荷量が若干少ないですが価格が高く推移しており、市場全般で販売額は前年並みとのこと。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙 2

7月2日(木)

○ホクレン大阪支店訪問(大阪3青果市場と合同協議)

(対応者) ホクレン大阪支店: 田中係長 大果大阪青果: 堀井課長
大果大阪青果北部支社: 西原係長 東果大阪: 松山課長

まず、JA担当職員より、本年度の生産計画や昨年度の各市場の出荷及び販売実績を報告しました。

東果大阪の松山課長より、サヤエンドウの取扱い状況については、西日本の産地は雨の影響で質があまり良くない一方、北海道産は品質も良く量的にも安定しているとの事です。単価に関しては、今のところ東北産も終盤の状態なので8月・9月に向けて単価を上げていきたいとのことでした。

大果大阪青果の堀井課長より、サヤエンドウやスナップエンドウは、東北産は量的には減少ぎみにあることから、秋口に向けて、徐々に単価を上げていきたいとのことでした。

大果大阪青果北部支社の西原係長より、サヤエンドウは、夏場はほとんど上ノ国産のみの取扱いとなっており、上ノ国産出荷前は東北産を扱っているそうです。3市場に共通して言えることは、スナップエンドウは北海道や本州の中山間地域での栽培面積が増加の傾向にあり、6月後半から7月中旬頃に出荷量が集中しているため単価が上がらず、厳しい状況にあるため、なるべく1年を通して出荷してほしいとの希望がありました。サヤエンドウは時期の終盤では、青森産、岩手産、東北産が若干あるそうです。中でも岩手産が単価に影響しているようです。また、中国産に関しては、取引量はわずかであるとのことです。

最後に担当職員からサヤエンドウの全国単価は大阪が大きく影響しているので、是非とも高値での取引をしていただきたいと要望しました。

7月3日(金) 午前9時

○神果神戸青果

(対応者) 田村課長

JA担当職員より今年のサヤエンドウの生産計画及び昨年度の出荷販売実績を説明しました。

神果神戸青果の田村課長から状況説明があり、今年は九州産に始まり、和歌山産東北産、現在は、岩手産が終わりに近いため、上ノ国産、石狩産が出荷されている状況です。上ノ国産に関しては、品質が良く、良い状態を続けてほしいとのことですが、量が多い時は捌くのが難しいため、早めに連絡をくれれば売り先を見つけて安定単価での取引をできるとのことです。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙 2

上ノ国町の要望としては、今般も昨年より一層アップした安定価格での取引をお願いしました。

7月3日（金）午後2時

○名果株式会社

（対応者）横山取締役、林常務、石原副部長、藤田考査、水野課長補佐

J A担当職員よりサヤエンドウの生産計画、今年度の販売実績を説明しました。名果より、現在は、東北産が10～20ケースの入荷で終わりそうなので、早めに北海道産に切り替える予定のため、よろしくお願ひしたいとのことです。特に上ノ国産は品質が良く安心して取扱えることや、お盆前は需要があるので少しでも多くの出荷をお願ひしたいとのことです。名果では、2年前から残農薬の問題が原因で、中国産はほとんど扱っていないとのことです。

J A担当者から、名果は出荷量も多く、単価的にも上々なのでお互い連絡を密にしてより良い取引となるようお願ひしました。

※関西方面市場視察のまとめ

関西方面各青果市場は生産量が若干少ないため、価格が良いことから、収支面は上々の状況にあるとのことです。

本町ではキヌサヤエンドウの作付けは減少し、スナップエンドウの生産量は若干増加しておりますが、市場からは今後、出荷量を少しでも増やしてほしいとの要望がありました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。